

# かつて子どもだった すべての大人に贈る物語

物語を読むだけで、  
心が明るく  
なっていく、  
不思議な本

ブルガリア発、世界 10 言語以上で出版された、自己啓発寓話！

## 7人のこびとがアンに教えてくれたこと

カーリーナ・ステファノバ 著／田内志文 訳

(story)

ある日、自身の性格を反映した7人のこびとが見えるようになったアン。自己との対話を通して、人生の豊かな知恵を学ぶ旅にでます。かわいくて深い、不思議な読み心地の自己啓発寓話です。

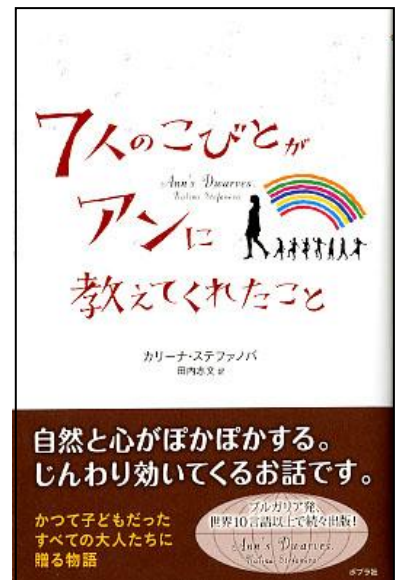
(from Translator)

「あれ、いま私、何を思った？」——

ふとした瞬間に、心をかすめていった小さな想いが、余韻だけを残して去ってしまうようなことがあります。

それは、歩き出せば忘れてしまうような、ささやかな願いだったのかもしれませんが、懐かしい友人の顔だったのかもしれませんが。忙しい毎日のなかで、置き忘れてきた大切なものがある——そんなことに気づかせてくれる素敵なお話が、遙かなスラブの地から届きました。

世界的な演劇研究者でもある著者のカーリーナさんは、ブルガリアの首都ソフィアに暮しています。本書は2004年に祖国で出版されました。その後、10言語以上に翻訳され、さまざまな国で新しい読者が生まれています。



『7人のこびとがアンに教えてくれたこと』

カーリーナ・ステファノバ 著／田内志文 訳

10月7日発売／四六版上製／定価 1155 円 (税込み)

訳者

——序文より

### ▼著者プロフィール

カーリーナ・ステファノバ／1962年、ブルガリア生まれ。演劇の客員研究者として国際劇場、芸術祭などの審査員、国際演劇評論家協会副会長等を歴任。現在はブルガリアのソフィアに在住し、演劇論、舞台美術の教授を務めている。親しみやすい物語の中に哲学的なメッセージを織り込んだ本書は『星の王子様』やパウロ・コエリョ作品と比較され、韓国、スペイン及びスペイン語圏各国、ポルトガルなどで出版されたほか、中国、ベトナム、トルコでの出版も決まっている。

### ▼翻訳者プロフィール

田内志文 (たうち・しもん)／1974年埼玉県生まれ。明星大学日本文化学部卒業。フリーライターとして活動したのち渡英し、イースト・アングリア大学院で翻訳を専攻する。訳書に『BLUE』(河出書房新社)、『Good Luck』(ポプラ社)、『トンネル』(ゴマブックス)などがある。

### ▼お問い合わせ先

株式会社ポプラ社 編集局 tel. 03-3357-2305

ポプラ社 HP <http://www.poplar.co.jp/>